

〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 〇限
場 所 5年〇組教室

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

「ニュース番組作りの現場から」
「工夫して発信しよう」－編集して伝える

2 単元の目標

- ★文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。
- ★伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考え、形にして発信する。
 - ・ニュース番組の「特集」がどのように作られているのかに関心を持ち、その過程に興味を持って進んで読もうとする。 **【関心・意欲・態度】**
 - ・自分の伝えたいことや意図が伝わるように、話の組み立てを工夫しながら、適切な言葉づかいで話す。 **【話す・聞くこと】**
 - ・書く必要のあることを整理し、集めた材料を目的に合わせて加工して、効果的に配列しながら書くことができる。 **【書くこと】**
 - ・自分たちが番組を作るために必要な事柄を、時間の順序に従って段落ごと読み取ることができる。 **【読むこと】**
 - ・複合語について理解を深め、外来語も含んだ複合後も合わせて見つけることができる。 **【言語事項】**

3 指導にあたって（活用力育成を視野に入れて）

(1) 児童観

本学級の児童は、第5学年の説明文教材「サクラソウとトラマルハナバチ」において、文章の構成を理解しながら、段落毎の要点をまとめ、文章全体を通しての要旨を捉え、要旨を受けて自分の考えを持つ学習をしてきている。また、「言葉の研究レポート」や「人ともとの付き合い方」の学習では、自分なりに調べたことを整理し、発表する活動や友達の発表を聞いて自分の考えをさらに深めるといった活動を行ってきた。また、「千年の釘に挑む」の学習を通して段落毎に大事なことを読み取る学習の中から、自分なりに要点をまとめ、読み取ったことをもとにしながら、自分自身が読んだ伝記の主人公を紹介するという活動を行ってきた。そのような活動の中で自分の意見をクラスの友達の中に広げていく姿も見られるようになってきた。

説明文の内容の読み取りという視点からは、要点の捉えはまだまだ甘いながらも、大事なポイントの押さえ方は的確になってきている。例示されていることと筆者が本当に言いたいことを、文毎に区別し、何が要点であるかを見つけることができるようになってきた。また接続語や指示語を手がかりに文章のつながりを意識し内容を読み取ることもできてきた。情報を発信するという視点からは、社会科や総合的な学習の時間における新聞づくり等の学習の中で、意欲的に取り組む児童も多いが、伝えたいことが明確ではなかったり、集めた資料をそのまま書き写してしまったりと、自分が話題として取り上げたいことをはっきりとさせたり、取材したり、集めた情報を整理し、加工して表現する力はまだまだ不十分である。この学習を通して、「読み取った情報を、次の情報発信の方法の手段として生かしていくこと」を知り、グループの友達と関わり合いながら発信して伝える力、相手や受け手を意識した取材力、情報を精選する力、そしてわかりやすく伝える力を高めていってほしいと願っている。

(2) 教材観

「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方についてまとめた説明文である。ニュース番組が作られるまでのスタッフの役割、情報収集、編集会議の在り方、伝えたい内容の絞り方などが時系列的にわかりやすくまとめられている。単元全体を通して、最終的に自分たちでニュース番組をグループ毎に制作するということを予め伝え、ニュース番組作りをすることを明確な目標として持たせ、目的意識を持って教材文を正確に読むことができるように意欲づけたい。ニュース番組を作る上で大切なことやポイントを時系列に沿ってまとめながら、自分達のニュース作りのマニュアルとなるように、しっかりと読み取らせておきたい。そのために、ニュース番組ができるまでの「過程」を書きぬき表にまとめたり、大切なポイントや気をつける点を見つけて教材文にサイドラインを引かせる等の活動を通して、まず意味段落の内容をしっかりと捉えさせたい。

ニュースを作り発信する場面においては、説明文で読み取った「番組作りマニュアル」を活用し、グループ活動を中心に進めていきたい。企画会議、取材、編集し、ニュース原稿作り、そして情報の発信を行う。その際、グル

ープ内での役割分担、そして意見を交流しながらのかかわりの中で、自分から積極的に意見を出し合い、よりよいものを作り上げるのだという意識を高めていきたい。そのための基盤づくりとしての日常的な活動も大切にしていきたい。例えば、日記や作文といった文章作りや、友だちのよいところ見つけなどいろいろな視点で物事を見る意識など、日頃から子ども達自身がアンテナを高くしておくことのできる活動を続けていく。

小学校では、3学年「ありの行列」で「要点」を学び、5学年「サクラソウとトラマルハナバチ」で「要旨」を学ぶ。また「千年の釘にいどむ」でも段落毎に大切なことを読み取る学習を積み重ねてきている。また、情報を発信する学習として、4学年「アップとルーズで伝える」、5学年「言葉の研究レポート」で、自分の興味関心のあることについて調べ、整理し、発表して情報を発信する学習活動を行ってきた。本単元でも情報を活用し発信する学習に取り組む中で、既習の学習事項であることを活用しながら、話題を選び、必要な情報を集め（取材）、整理し、編集して伝えるということを中心化しながら授業を進めていくことで、目的に応じた情報発信の力が身につくのではないかと考えている。

(3) 5年テーマ「伝え合い学び合う子」にせまるために

本学級は、自分の考えを持っていても、発言しようとする児童は少ない。他の児童の発言を聞いて、自分の考えと比較し、発言を返すことができる児童はさらに少ない。簡単な発問や課題に対しては、挙手する児童は少しずつ増えてきたが、まだまだ自信をもって発表するといった姿には遠い。また、よく発言する児童の中にも、指示や発問の内容をよく理解しないまま思いつきで話をする児童もいる。本単元でも、話し合いの場面はたくさんある。そこで、少しでも自らの思いを表出できるように、以下の点に気をつけて取り組みたい。

- ① **一人読みの時間**をもつこと。自分の考えをしっかりと持つ。持つ時間を保障することで、話し合い活動に参加する足がかりとしたい。
- ② **ペア交流やグループ活動**を取り入れること。自分の考えが友達と同じだと安心できる場を作ることで、自分の考えに自信を持たせたい。考えが違う場合でも、お互いに理由を聞いて、考え直すようにする。
- ③ **友達の意見に反応**すること。話の聞き方として、しっかりと顔を向けて話を聞くこと。また、友達の意見に反応したり、つなげたりすることは、意見を言った友達に対して、「勇気をだして、意見を言ってよかったなあ。」という自信を与えるということを伝えていく。また、教師が、勇気を持って発表したすばらしさをほめたり、よい気づきをほめたりすることで、発表した児童に「発表してよかったなあ。」という思いを持たせたい。
- ④ **ふりかえりを書く**こと。ふりかえりで、授業を通して分かったことや友達のがんばったところを書き、それをいろいろな形で発信することで、互いを認め合いたい。ふりかえりのまとめ方が良かったものばかりでなく、友達のがんばりも発信することで、互いに認め合い、次時への意欲へとつなげる。
- ⑤ **説明文の読み方について型を教える**こと。「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組づくりにおける「過程」を時系列に沿ってわかりやすく並べて書いてあるのだが、文章表現が難しい複合語や難解な意味の言葉が多いので、児童が読み取っていくことが難しい教材である。この学習で押さえることを精選した上で読み取らせる方がよいと思われる。

そこで、例として挙げられている「富士山の噴火に備えた防災訓練」のことを深く読み取らせるのではなく、教材文全体から特集が放送されるまでの過程（手順）を読み取らせることを第一と考える。そのために、報道スタッフの仕事を一般化し、必要な情報を取り出していくこととする。必要な情報を取り出し、特集作りの過程（手順）が分かれば、自分たちで特集作りをするときにそれを活かすことができる。

各段落から「特集」の作り方の「過程」を読み取ることは、各段落に書かれている「過程」について要約することが必須である。要約する際の手順を明確にするために、「主語（だれが）」「述語（どうする）」「修飾語（何を）（どのように）」にあたる叙述に、サイドラインを引き全体で確認し、その活動を繰り返すことによってより明確に「過程」を捉えられるようになるだろうと考える。段落によっては、主語や述語が省略されているところもあるので、前後の文脈から考えさせる支援も行っていく。

- ⑥ **書く活動**について。「ニュース番組の特集作りの過程」は、制作の過程が一目で見分かりやすいように、ワークシート1枚に「全体構成」「段落」「小見出し」「いつ」「主語」「修飾語」「述語」を時系列に沿って書かせることにして、「番組作りマニュアル」になるようにしておき、後のグループ活動に活用していくことができるようにしていきたい。

(4) 活用力を育てる場面

- 本時で 『ニュース番組づくりの過程を読み取り、自分達のニュース番組づくりに生かす』
この「過程」は自分たちの後のどの活動に生かすことができるか考えながら読む。 (判断力)
- 単元で 『初発の感想を発表する場面』 ～「ニュース番組作りの現場からを始めて読んだ場面～
自分の思ったことや気づきを自分の言葉で表す。 (表現力)

『ニュースを作る場面』

- 伝えたい相手を意識して、話題を選ぶこと。(思考力)
- 企画会議・編集会議を通して、伝える相手や目的に合わせてニュース原稿を作る。(思考力)
- ニュース原稿を工夫して表現し、伝えたい子がわかりやすく伝わるかを検討する。(判断力)

『制作したニュースを発表する場面』 ～情報を発信する場面～

- 伝えたい内容や意図が伝わるように適切な言葉遣いで話す。(表現力)

○生活で

『他教科で新聞を作ったり、調べ学習をしたレポートを発表したりする場面』

- 社会科のまとめの新聞づくりにおいて、自分が伝えたい情報を精選しながら作る。
- 総合的な学習の米づくりレポートづくりでは、本単元を生かしながら情報を集め、わかりやすくまとめて発表する。(表現力)

4 本時の展開 (第三次中の1時)

(1) 本時のねらい 自分達で話し合い、目的に応じて情報を発信する計画を立て、意欲的に企画書を書くことができる。

(2) 学習過程

学習活動と児童の意識の流れ	時間	教師の指導と評価
<p>1. 前時までの学習をふりかえり、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画会議で話題を決めるんだな。 必要な材料を集める取材の計画も立てよう。 取材したものの中から、中心を決めて編集して伝えることが大事なことだった。 <p><自分達で、「特集」を作って、発信する計画を立てよう></p>	5	<ul style="list-style-type: none"> 掲示物や番組づくりマニュアルを確認し、「特集」を作る手順や要点を確かめさせる。 情報を発信する魅力について押さえ、発信してみようという意欲を高めておく。 誰に向って伝えるのかという相手意識を持たせるために、放送委員会を通じ、作ったニュースを全校に流すことができることも知らせておく。
<p>2. 話題について自分なりの考えを持つ。</p> <p>●自分の日記帳を振り返りながら、どんな話題を取り上げたいか自分の考えを持つ。</p>	5	<p>活【思考力】</p> <p>「特集」ができるまでの過程を生かし、目的に応じた情報発信をするため、見通しを持ってグループで話題を考えている。</p>
<p>3. どんな話題を取り上げるのかグループで話し合う。</p> <p>●一グループ4人。8つのグループ毎に取り上げる話題について話し合う。(進行役を中心に、全員が提案する形で進めよう。)</p> <p>【話題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しく先生になった先生特集 御園米プロジェクトの今 保健室の現状 (学校のケガの多さ) 図書室の楽しさ 〇〇委員会の活動について プロジェクトKの取り組みより 学校の名人 (野球、バスケット、陸上等) 本当に知っている御園小学校 等 <p>●話題が決まったグループは、担任に伝えるとともに黒板にテーマを板書する。</p> <p>●グループ全体で、伝える目的(願い)、取材する対象、情報発信の方法について話し合い、グループの企画書に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい先生になぜ先生になったかのかを聞いて知ってもらいたいなあ。 お米を育てる大変さとできた時の喜びについて伝えたい。 御園小は怪我が多いけど、みんなでどんなことに気をつけていけばいいか、保健の水上先生に聞いてみよう。 委員会で頑張っていることは意外とみんな知らないから、全校にぜひ知ってもらいたいかもしれない。 	15	<ul style="list-style-type: none"> 身近なところに話題をもとめ、「特集」を企画することができるように企画書(ワークシート)を用意し書き込ませていく。 自分達の力で、実現可能かということを考えさせ、話題が適当か、取材、さつえいが可能な内容なのかグループ毎に助言する。 進行役を決め、グループの中の一人一人が発言し、提案できるように話し合いの進め方について確認する。 目的(願い)について十分話し合いをさせる。 <p>評【関・意・態】</p> <p>自分達で、「特集」を作り、発信しようという意欲を持って、話し合いに参加し、企画書を書いている。(発言・観察・ワークシート)</p> <p>C→B</p> <p>話題が決まらないグループには、教師側で参考となる内容のものを準備しておきアドバイスする。</p>
<p>4. 話し合いで決まったことをグループ毎に発表し、全体で交流する。(各グループ1分以内 × 8グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のグループの「特集」について分かりやすく伝える。 	12	<ul style="list-style-type: none"> 話型を示し、グループで話し合ったことを話題、目的(願い)、取材する対象、情報発信の方法の4

<p>・他のグループの「特集」について興味関心を持って聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>私たちのグループは、「 」を話題に取り上げました。そのわけは、〇〇について全校に考えてもらいたいからです。そのために△△へ取材にいき、デジカメの動画をつかって映像をとってこようと思っています。</p> </div> <p>5. ふりかえりをする</p> <p>・自分達の班で話し合ったことを個人の企画書に記入し、今日の学習について文章でふりかえる。</p>	8	<p>つの項目について分かりやすく1分以内に話すように指示しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの取材—構成—編集—原稿作成までの時間の目安を知らせ、今後の見通しを持たせる。 ・2～3人振り返りを発表させる。
---	---	---